

早稲田大学ナノテクノロジーフォーラム
企業若手人材 交流・勉強会
実施報告

1. 会 場：早稲田大学研究開発センター120-5号館 1階 121 会議室

2. 日 時：2018 年 6 月 20 日（水）15：00～18：00

2018 年 7 月 5 日（木）15：00～18：00

2018 年 7 月 19 日（木）15：00～18：00 ／全 3 回

3. 概 要

第 1 回 講師：松永 是（東京農工大学 元学長、早稲田大学理工学術院 総合研究所 上級研究員）

演題：バイオイノベーションの実現

モデレーター：橋本 正洋（東京工業大学 教授）

【講演要旨】

大学での研究者、教育者、管理者としての経験を踏まえ、イノベーション実現のための方策について解説し、議論の材料を提供された。具体的には大学におけるイノベーション人材の結集とその育成、グローバル化について述べた。さらに、農学分野と工学分野からなる国立大学として、食料、エネルギー、ライフサイエンス研究の充実について実際の最先端の研究を例に紹介された。大学技術移転についても、統計をもとに議論した。

第 2 回 講師：牛山 誠（いすゞ自動車株式会社 理事）

演題：自動車の商品開発 決定プロセス

モデレーター：橋本 正洋（東京工業大学 教授）

【講演要旨】

自動車の商品開発過程における意思決定プロセスを紹介し、商品計画に大きな影響を与えた環境変化をどう乗り切ったか振り返った。

第 3 回 講師：大林 秀仁（NFM 会長、(株)日立ハイテクノロジーズ 名誉相談役）

演題：日立ハイテクにおける製品開発と知財戦略

モデレーター：橋本 正洋（東京工業大学 教授）

【講演要旨】

日立ハイテクの世界規模での事業展開において新製品開発は最重要な課題である。このために自社製品売上高の 10%程度を研究開発費に当てている。弊社の代表的な主要製品である半導体製造プロセスの量産現場で活用されている測長 SEM を例として、その開発の概要について述べた。事業展開に当たっては開発製品の知的財産を攻守に亘って保全することも大切であり、具体的施策についても紹介された。

4. 実施内容： 15：00～16：00 講演

16：00～17：00 ディスカッション

17：00～18：00 交流会

5. 参加者数： 8 社 15 名（おおむね 35 歳以下）

役員・研究戦略監：7 名

事務局：3 名



6. 報告事項（事務局記載）

若手企業人に対し勉強と幅広い人脈作りの場を提供し、社会・技術動向や企業における技術開発・事業立上げのヒントを学ぶ機会となることを目的とした交流・勉強会を開催しました。

参加者は、講演に対し熱心に耳を傾けていたのはもちろん、その後のグループディスカッションではモデレーターの橋本先生を中心とし、テーマにそって積極的に発言していました。また、参加の皆さんは企業での立場や年齢が近く、他社の方との意見交換は大変貴重な機会となり、有意義なディスカッションが出来たとの声が多く聞かれました。

今回の交流・勉強会につきましては、ナノテクノロジーフォーラム役員も多く出席し、参加者の方々との交流を行うことができました。

全3回の企画ということもあり、回を重ねるごとに打ち解け、お互いに良い刺激を受けているようでした。参加者からは、「もっと講義を聞きたかった」「異分野の知識の習得ができた」「難しかったけれど、有意義な時間となったので、また来年も開催してほしい」とのご意見を多くいただき、満足度の高い企画となったものと思います。2019年度も引き続き開催を検討しております。

以 上

